

介護保険サービス提供事業者調査

貴事業所についておたずねします

問1 貴事業所の所在地はどこですか。所在している地区名をお答えください。
(1つに○)

1. 第1地区	多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台1～3丁目、若松町、浅間町、緑町
2. 第2地区	白糸台4～6丁目、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政
3. 第3地区	天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町
4. 第4地区	宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、宮西町、片町
5. 第5地区	日鋼町、武蔵台、北山町、西原町、美好町1～2丁目、本宿町3～4丁目、西府町3～4丁目、東芝町
6. 第6地区	美好町3丁目、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町1～2丁目、西府町1～2、5丁目

問2 活動状況についてお教えてください。

項目	回答欄
組織形態 (1つに○)	1. 社会福祉法人 2. 福祉公社・事業団 3. 社団法人 4. 財団法人 5. 医療法人 6. JA・生協 7. 株式会社 8. 有限会社 9. NPO 10. その他〔具体的に： 〕
事業所の種類 (1つに○)	1. 地域包括支援センター 2. 訪問介護 3. 通所介護 4. 訪問入浴介護 5. 訪問看護 6. 訪問リハビリ 7. 通所リハビリ 8. 居宅療養管理指導 9. 住宅改修・福祉用具 10. 短期入所生活・療養介護 11. 特定施設入居者生活介護 12. 介護老人福祉施設 13. 介護老人保健施設 14. 介護療養型医療施設 15. 夜間対応型訪問介護 16. 定期巡回・随時訪問型訪問介護看護 17. 認知症対応型通所介護 18. 介護予防認知症対応型通所介護 19. 小規模多機能型居宅介護 20. 介護予防小規模多機能型居宅介護 21. 複合型サービス 22. 認知症対応型共同生活介護 23. 介護予防認知症対応型共同生活介護 24. 地域密着型特定施設入居者生活介護 25. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 26. 居宅介護支援事業者 27. その他〔具体的に： 〕
併設する 事業所の種類 (あてはまるものにすべて○)	1. 地域包括支援センター 2. 訪問介護 3. 通所介護 4. 訪問入浴介護 5. 訪問看護 6. 訪問リハビリ 7. 通所リハビリ 8. 居宅療養管理指導 9. 住宅改修・福祉用具 10. 短期入所生活・療養介護 11. 特定施設入居者生活介護 12. 介護老人福祉施設 13. 介護老人保健施設 14. 介護療養型医療施設 15. 夜間対応型訪問介護 16. 定期巡回・随時訪問型訪問介護看護 17. 認知症対応型通所介護 18. 介護予防認知症対応型通所介護 19. 小規模多機能型居宅介護 20. 介護予防小規模多機能型居宅介護 21. 複合型サービス 22. 認知症対応型共同生活介護 23. 介護予防認知症対応型共同生活介護 24. 地域密着型特定施設入居者生活介護 25. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 26. 居宅介護支援事業者 27. その他〔具体的に： 〕

職員・スタッフの 人数 ※非常勤は常勤換 算でご回答ください		常 勤	非常勤
	介護支援専門員 うち 専 従 兼 務		人 人 人
事務管理者		人	人
職員の資格取得 の状況		常 勤	非常勤
	介護福祉士	人	人
	ホームヘルパー	人	人
	社会福祉士	人	人
	医師	人	人
	保健師・看護師	人	人
	管理栄養士・栄養士	人	人
	薬剤師	人	人
	理学療法士	人	人
	作業療法士	人	人
	言語聴覚士	人	人
	歯科衛生士	人	人
	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師	人	人

今後の事業運営についておたずねします

問3 昨年度の事業の採算はいかがでしたか。お差支えなければお答えください。

(1つに○)

1. 黒字
2. 赤字
3. 損益なし

4. その他 (具体的に：

)

問4 貴事業所では、今後3年のうちに事業規模についてどのように考えますか。

(1つに○)

1. 拡大予定
2. 現状維持
3. 縮小予定〔具体的に：
4. 検討中・わからない

〕

問5 昨年1年間の職員の離職状況（退職や転職）をお教えてください。また、補充はどのようにしていますか。具体的にお書きください。

- ※ 「退職」とは、専業主婦（夫）となる場合のほか他産業への転職を含みます。
- ※ 「転職」とは、他の介護保険事業者へ移行することです。
- ※ 離職者には非常勤も含みます。離職率は在籍職員数を母数とします。

(1) 離職状況

① 貴事業所の職員の平均在職年数は何年ですか。

- | | | | | | |
|----------|---|----|------------|---|----|
| イ. 看護師 | (| 年) | 二. 社会福祉士 | (| 年) |
| ロ. ヘルパー | (| 年) | ホ. 介護支援専門員 | (| 年) |
| ハ. 介護福祉士 | (| 年) | | | |

② 昨年一年間の離職者数及び離職率：全離職者数（ 人）・離職率（ %）

- | | | | | | | |
|-------|----------|---|----|------------|---|----|
| <退職者> | イ. 看護師 | (| 年) | 二. 社会福祉士 | (| 年) |
| | ロ. ヘルパー | (| 年) | ホ. 介護支援専門員 | (| 年) |
| | ハ. 介護福祉士 | (| 年) | | | |
| <転職者> | イ. 看護師 | (| 年) | 二. 社会福祉士 | (| 年) |
| | ロ. ヘルパー | (| 年) | ホ. 介護支援専門員 | (| 年) |
| | ハ. 介護福祉士 | (| 年) | | | |

③ 離職の理由（主要な理由）

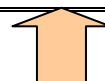
- | | | | | | |
|----------|---|----|-----------|---------|----|
| イ. 働きがい | (| 人) | 二. 転出・結婚等 | (| 人) |
| ロ. 給与・賃金 | (| 人) | ホ. その他 | 〔 具体的に： | 〕 |
| ハ. 人間関係 | (| 人) | | | |

(2) 補充対策〔具体的に〕

＜ 介護予防事業をしていない事業所におたずねします ＞

問6 今後、参入予定の介護予防事業はありますか。当てはまるものに○をつけてください。また、「参入意向がない」、または「検討中」の場合は、その理由と参入条件を下段の枠の中から選択してください。（いくつでも○及び選択）

事業名	参入意向の有無	検討中	参入意向無し
			理由（上段） 条件（下段）
①介護予防通所介護	有・無		【理由】 【条件】
②介護予防通所リハビリテーション	有・無		【理由】 【条件】
③介護予防訪問介護	有・無		【理由】 【条件】
④介護予防訪問リハビリテーション	有・無		【理由】 【条件】
⑤介護予防訪問入浴介護	有・無		【理由】 【条件】
⑥介護予防訪問看護	有・無		【理由】 【条件】
⑦介護予防居宅療養管理指導	有・無		【理由】 【条件】
⑧介護予防福祉用具貸与	有・無		【理由】 【条件】
⑨特定介護予防福祉用具販売	有・無		【理由】 【条件】
⑩介護予防住宅改修費支給	有・無		【理由】 【条件】
⑪介護予防短期入所生活／療養介護	有・無		【理由】 【条件】
⑫介護予防特定施設入居者生活介護	有・無		【理由】 【条件】
【理由】 1. 採算があわない 2. 人材が不足 3. 他社との競合が厳しい 4. 市場拡大が望めない 5. 公的支援が受けにくい 6. 施設を開設する土地や建物について情報がない 7. その他 []			【条件】 1. 財政面の公的な支援 2. 人材面の公的な支援 3. 場の提供 4. 市場ニーズの情報提供 5. その他 []

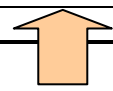


＜ 地域密着型事業についておたずねします ＞

問7 今後、参入予定の地域密着型事業はありますか。当てはまるものに○をつけてください。また、「参入意向がない」、または「検討中」の場合は、その理由と参入条件を下段の枠の中から選択してください。（いくつでも○及び選択）

事業名	参入意向の有無	検討中	参入意向無しの場合	
			理由（上段）	条件（下段）
①夜間対応型訪問介護	有・無		【理由】	【条件】
②定期巡回・随時対応型訪問介護看護	有・無		【理由】	【条件】
③認知症対応型通所介護	有・無		【理由】	【条件】
④介護予防認知症対応型通所介護	有・無		【理由】	【条件】
⑤小規模多機能型居宅介護	有・無		【理由】	【条件】
⑥介護予防小規模多機能型居宅介護	有・無		【理由】	【条件】
⑦複合型サービス	有・無		【理由】	【条件】
⑧認知症対応型共同生活介護	有・無		【理由】	【条件】
⑨介護予防認知症対応型共同生活介護	有・無		【理由】	【条件】
⑩地域密着型特定施設入居者生活介護	有・無		【理由】	【条件】
⑪地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	有・無		【理由】	【条件】

<p>【理由】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人件費が高い 2. 人材が不足 3. 家賃が高い 4. 地代が高い 5. 市場のニーズがわからない 6. 施設を開設する土地や建物について情報が ない 7. その他 <p>[]</p>	<p>【条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財政面の公的な支援 2. 人材面の公的な支援 3. 場の提供 4. 市場ニーズの情報提供 5. その他 <p>[]</p>
---	--



サービス提供における課題をおたずねします

問8 サービス提供で困難だったケースがありましたか。

1. ある(あった)

2. ない

問8-1 問8で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。。どのようなケースですか。(いくつでも○)

1. ひとり暮らしで親族と連絡が取りにくいケース
2. 認知症の症状が進行し急変する方のケース
3. 病識がなくサービスの拒否があるケース
4. 胃ろうなどの医療処置を受けているいるケース
5. ケアプランの内容について本人と家族からの理解が得られないケース
6. ケアプランの内容について本人と家族の意見が合わないケース
7. 必要なサービスが不足していてサービスが受けられないケース
8. 家族に障害や精神疾患があるケース
9. 老老介護、認認介護などの世帯のケース
10. 虐待を受けている又はその疑いのあるケース
11. 消費者被害や詐欺被害を受けている又はその疑いのあるケース
12. 飲酒や喫煙など生活面で問題があるケース
13. 経済や住宅に困窮し生活支援が必要なケース
14. 施設や病院から退所・退院したばかりのケース
15. ターミナルケアを受けているケース
16. その他〔具体的に： 〕

問9 貴事業所だけでは対応が困難だったケースはどの程度ありますか。(1つに○)

1. 対応できないケースが多い(50人のうち5人以上)
2. 対応できないケースが少しある(50人のうち2~4人程度)
3. 対応できないケースが若干ある(50人のうち1人程度)
4. ほとんどない

問10 困難だったケースについて、貴事業所ではどこかに相談しましたか。

(いくつでも○)

1. 事業所内で相談した
2. 他事業所のケアマネジャーに相談した
3. 地域包括支援センターに相談した
4. 高齢者支援課に相談した
5. その他〔具体的に： 〕
6. 特に相談していない

問11 お差支えなければ、最も困難だったケースについてお教えてください。

サービスの質の向上に向けた取組をおたずねします

問12 日ごろ、居宅サービスを提供していくうえで、法令順守（コンプライアンス）は当然として、利用者からの信頼を得るためには何が必要か、お考えをお教えてください。（いくつでも○）

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 経営理念・ビジョンの確立 | 7. マニュアルや手引書の整備 |
| 2. 組織体制 | 8. 利用者への対応 |
| 3. 人材確保 | 9. 他機関（他事業所等）との連携 |
| 4. 人材育成（研修・学習会） | 10. 情報収集及び提供方法 |
| 5. 就業環境整備（人件費・福利厚生等） | 11. 個人情報保護 |
| 6. サービス内容の充実 | 12. その他 |



【その他】具体的に

問13 居宅サービスを受けている利用者からサービスへの要望や意見等がありましたら、お書きください。

問14 現在、貴事業所では質の向上に対する取組をどのように行っていますか。
(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|--|
| 1. 第三者評価の実施 | 8. 人材の確保 |
| 2. 専門家、コンサルタントの活用 | 9. スタッフの資格取得への支援 |
| 3. ISO等品質管理に関する認証取得 | 10. 事業者間の交流 |
| 4. 苦情事例等の活用・蓄積 | 11. 事業者連絡会への出席 |
| 5. 事業所内での検討会 | 12. 利用者調査の実施 |
| 6. 手引書の作成と見直し | 13. 介護情報の公表 |
| 7. 外部研修会への出席 | 14. その他〔具体的に：] |

問15 問 14 で「1. 第三者評価の実施」と回答しなかった事業所におたずねします。
今後、第三者評価を実施する予定はありますか。(1つに○)

1. 実施の予定がある
2. 実施の予定はない

問 15-1 問 14 で「2. 実施の予定はない」とお答えになった事業所におたずねします。その理由は次のうちどれですか。(1つに○)

1. 費用がかかりすぎるから
2. メリットがよくわからないから
3. 評価機関の選び方がわからないから
4. サービスの改善に結びつくかわからないから
5. 業務が多忙なため
6. その他〔具体的に： 〕

問16 人材を確保するためどのような取組を行っていますか。(いくつでも○)

(1) 現在の取組

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 新規採用枠の拡大 | 9. 職員間の助け合い制度 |
| 2. 中途採用枠の拡大 | 〔具体的に： 〕 |
| 3. 就業時間の見直し | 10. 併設・系列事業所内で人員確保 |
| 4. 福利厚生の実施 | 11. 社外の協力体制の整備 |
| 5. 賃金面の充実 | 12. 求人広告掲載 |
| 6. 研修会への参加支援 | 13. その他〔具体的に 〕 |
| 7. 資格取得の支援 | |
| 8. 相談体制の実施 | |

(2) 今後の取組

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 新規採用枠の拡大 | 9. 職員間の助け合い制度 |
| 2. 中途採用枠の拡大 | 〔具体的に： 〕 |
| 3. 就業時間の見直し | 10. 併設・系列事業所内で人員確保 |
| 4. 福利厚生の実施 | 11. 社外の協力体制の整備 |
| 5. 賃金面の充実 | 12. 求人広告掲載 |
| 6. 研修会への参加支援 | 13. その他〔具体的に 〕 |
| 7. 資格取得の支援 | |
| 8. 相談体制の実施 | |

問17 研修についておたずねします。

(1) 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(1つに○)

1. 十分実施できている
2. 十分ではないが実施できている
3. ほとんど実施できていない〔理由： 〕
4. その他〔具体的に： 〕

(2) 外部の研修や事例検討、勉強会について職員が積極的に参加できるよう支援していますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。

(1つに○)

1. 支援している
2. 十分でないが支援している
3. ほとんど支援していない
〔理由： 〕
4. 支援したいができない
〔理由： 〕
5. その他
〔理由： 〕

サービス利用者の在宅医療の必要性についておたずねします

問18 貴事業所がサービスを提供している利用者の中に、往診*が必要と思われる方はいますか。(1つに○) (*：患者さんの求めに応じて急変時に行う診療)

1. いる→()人
2. いない

問19 貴事業所がサービスを提供している利用者の中に、訪問診療*が必要と思われる方はいますか。(1つに○) (*：通院の困難な患者さん宅に定期的に訪問して行う診療)

1. いる→()人
2. いない →問21へ

問20 問18及び問19で「1. いる」とお答えの事業所におたずねします。貴事業所では、医療処置を必要としている方に往診や訪問診療が十分行われていると思いますか。（往診と訪問診療に分けてそれぞれ1つに○）

①往診（1つに○）

1. 十分行われている
2. ある程度行われている
3. あまり行われていない
4. 全く行われていない

② 訪問診療（1つに○）

1. 十分行われている
2. ある程度行われている
3. あまり行われていない
4. 全く行われていない

《問20 で1つでも「3」又は「4」とお答えの方におたずねします》

問20-1 その理由は何ですか。具体的にお書きください。

問21 貴事業所がサービスを提供している利用者の中に、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。（ア～ウそれぞれ1つに○）

- | | | |
|----------------------|------------|--------|
| ア. 訪問看護が必要と思われる方 | 1. いる→（ ）人 | 2. いない |
| イ. 訪問歯科診療が必要と思われる方 | 1. いる→（ ）人 | 2. いない |
| ウ. 訪問服薬管理指導が必要と思われる方 | 1. いる→（ ）人 | 2. いない |

問22 貴事業所では、専門職の立場からみて、市内で在宅療養している高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行が行われているとお考えですか。（1つに○）

1. 行われていると思う
2. ある程度行われていると思う
3. あまり行われていないと思う
4. 全く行われていないと思う

問23 貴事業所では、専門職の立場からみて、高齢者の在宅療養を進めていく上で不足している機能は何だとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 訪問診療や往診をしてくれる診療所
2. 訪問看護（訪問看護ステーション）
3. 訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設
4. 介護老人福祉施設や介護老人保健施設などの介護保険施設
5. 一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア
6. その他（具体的に： _____）

問24 貴事業所では、医療と在宅ケアの間で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

問25 貴事業所では、医療関係機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室等）にどのようなことを期待しますか。具体的にお書きください。

医療と介護の連携の必要性についておたずねします

問26 貴事業所は、医療と介護の連携の必要性についてどのようにお考えですか。（1つに○）

1. 必要である →問27へ 2. 必要でない

《問26で「2. 必要でない」とお答えの事業所におたずねします》

問題26-1 そのように考える理由は何ですか。（1つに○）

1. 医療と介護は別である
2. 制度が違う
3. その他（具体的に： _____）

問27 在宅療養者への医療と介護は、サービス担当者会議等を通じて連携していると思いますか。（1つに○）

1. 十分連携していると思う
 2. ある程度連携していると思う
 3. 連携が不十分であると思う
 4. ほとんど連携していないと思う
- } → 問28へ

《問27で「3」又は「4」とお答えの事業所におたずねします》

問27-1 そのように考える理由は何ですか。（3つまでに○）

1. 医学知識や医療制度がわからない
2. お互いに多忙で連絡がとれない
3. 個人情報の保護の観点から情報が共有されない
4. 交流の場がない
5. 誰と連絡をとればいいのかわからない
6. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している
7. その他（具体的に： ）

問28 貴事業所では、退院前（時）カンファレンスに出席したことがありますか。（1つに○）

1. ある
2. ない → 問29へ

《問28で「1. ある」とお答えの事業所におたずねします》

問28-1 退院前（時）カンファレンスの頻度はどのような状況ですか。具体的にお書きください。

問29 貴事業所では、医療と介護の連携を図る上で情報の共有化をどのように**進めると良い**とお考えですか。具体的にお書きください。

問30 貴事業所では、医療関係機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室等）との間で問題やトラブルが発生したことがありますか。（1つに○）

1. ある 2. ない →問31へ

《問30で「1. ある」とお答えの方におたずねします》

問30-1 どのような問題やトラブルの発生を経験しましたか。具体的にお書きください。

問31 貴事業所が関わるサービス利用者の情報について、次の関係機関、職種への連絡状況をお答えください。（ア～スそれぞれ1つに○）

	い ほ な い ど と つ て	な あ ま り と つ て い	い あ る 程 度 と つ て	よ く と つ て い る
記入例) サービス利用者のかかりつけ医	1	②	3	4
ア. 病院	1	2	3	4
イ. サービス利用者のかかりつけ医	1	2	3	4
ウ. サービス利用者が必要と考えられる診療科の医師	1	2	3	4
エ. 歯科医師	1	2	3	4
オ. 薬剤師	1	2	3	4
カ. 病院の地域連携室(医療ソーシャルワーカー)	1	2	3	4
キ. 地域包括支援センター	1	2	3	4
ク. 訪問看護ステーション	1	2	3	4
ケ. ケアマネジャー	1	2	3	4
コ. ホームヘルパー	1	2	3	4
サ. 通所介護(デイサービス)	1	2	3	4
シ. 訪問・通所リハビリテーション	1	2	3	4
ス. 短期入所生活介護(ショートステイ)	1	2	3	4

問32 貴事業所では、サービス利用者の医学的な情報を十分把握していますか。（1つに○）

1. 十分把握している
2. ある程度把握している
3. あまり把握していない
4. ほとんど把握していない

問33 貴事業所では、主治医との連携はとれていますか。（1つに〇）

1. 全員の利用者に対してとれている
2. ほとんどの利用者に対してとれている
3. ごく少数しかとれていない
4. 全くとれていない

問34 一般に医療機関や主治医等との連携がとりにくいと言われていますが、その主な理由をどのようにお考えですか。（1つに〇）

1. 医療機関や主治医が多忙で、理解が得にくいのため
2. 医療側に体制が整っていないため
3. 連携のとり方がわからない
4. 連携の必要性を感じない
5. その他（具体的に： ）

問35 貴事業所では、ふだん、医療機関や主治医とどのような方法で連絡をとっていますか。（いくつでも〇）

- | | |
|----------|---------------------------|
| 1. 電話 | 4. 直接訪問 |
| 2. ファックス | 5. その他（具体的に： ） |
| 3. 電子メール | |

問36 貴事業所では、サービス利用者一人ひとりの主治医と面識がありますか。面識があるおおよその割合をお答えください。（1つに〇）

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 0～2割くらい | 4. 7～8割くらい |
| 2. 3～4割くらい | 5. 9～10割くらい |
| 3. 5～6割くらい | |

問37 貴事業所では、医療と介護の連携を図るためにどのようなことが必要だとお考えですか。（3つまでに○）

1. 医師・歯科医師がケアマネジャーの相談を受け付ける時間「ケアマネタイム」を充実する
2. 在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する
3. 医療と介護の連携マニュアルを作成する
4. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する
5. 在宅療養者の緊急時用のベッドを確保する
6. 関係者のためのネット上で連絡がとれるようなしくみを構築する
7. 医療（病院・診療所）と介護の役割分担を明確にする
8. その他〔具体的に： 〕

震災時の体制についておたずねします

問38 大規模災害が発生した際の要援護者の支援について、計画や方針はありますか。（1つに○）

1. 計画や方針がある
2. 今後策定する予定である
3. 計画や方針はないし、策定予定もない

問39 大規模災害が発生したときに、要援護者に対するサービスを早期に再開し、継続的に提供するためのマニュアルやガイドラインなどがありますか。（1つに○）

1. マニュアルやガイドラインがある
2. 今後策定する予定である
3. マニュアルやガイドラインはないし、策定予定もない

問40 貴事業所では大規模災害に備えてどのようなものを、どの程度、備蓄していますか。備蓄しているものに○を付け、備蓄量を記入してください。（いくつでも○）

(1) 食糧

備蓄の種類	備蓄の量
1. 主食（米、パン等）	
2. 副食（かん詰め、レトルト等）	
3. 飲料水	
4. その他	

(2) 生活用品

備蓄の種類	備蓄の量
1. 毛布	
2. 家庭用医薬品	
3. その他	

(3) 高齢者用品

備蓄の種類	備蓄の量
1. 成人用おむつ	
2. 配慮食（おかゆなど）	
3. 介護食（栄養食など）	
5. 成人病対応食	
6. アレルギー対応食	
7. ストーマ用装具	
8. 気管孔エプロン・酸素ボンベ等の補装具	
9. その他	

府中市への意向についておたずねします

問41 今後保険者としての府中市に対し、事業者として望むことは次のうちどれですか。（3つまで〇）

1. 介護保険に関する情報提供、研修の実施
2. 質の向上のために事業者が行う研修への支援
3. 不正な事業所への指導
4. 利用者への適正なサービス利用の啓発
5. 地域包括支援センター機能の充実
6. 市と事業者間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催
7. 制度運営における保険者判断部分の周知
8. その他〔具体的に〕

9. 特にない

問42 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。（3つまで〇）

1. サービス事業者の質を高めること
2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること
3. 市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設をふやすこと
4. 利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと
5. 介護保険についての市民向けの勉強会などを実施すること
6. 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること
7. 高齢期に住み続けられる、すまいの施策を充実すること
8. 地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと
9. 身近な地域でサービスが受けられる拠点をふやすこと
10. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと
11. 家族介護の負担を軽減する高年齢者保健福祉サービスを充実すること
12. 地域包括支援センターの機能を充実すること
13. 介護保険サービスをカバーする高年齢者保健福祉サービスを充実すること
14. 介護保険制度を使いやすいものにする
15. その他〔具体的に： 〕
16. わからない

問43 その他、介護保険に関するご要望について、ご自由にお書きください。



———ご協力ありがとうございました———